

台帳番号

整理番号

令和 3 年度分 上場株式等に係る譲渡損失の繰越控除明細書

住所：豊橋市

氏名：

平成 29 年から平成 31（令和元）年までの間に生じた上場株式等に係る譲渡損失の金額で、令和 2 年度分以前の市町村民税及び道府県民税に係る上場株式等に係る譲渡所得等の金額の計算上引き切れなかった損失の金額があるときは、下の欄に必要な事項を書き入れてください。

損失の生じた年	損失が生じた年の損失額 で、その年の末日の属する 年度の翌々年度へ繰り越した 損失額 (a) _____ 円	前々年度分及び前年度分の 所得金額の計算上差し引か れた損失額 (b) _____ 円	本年度分以後に繰り越して 差し引かれる金額 (a)－(b) _____ 円
平成 29 年			
平成 30 年			
平成 31 年			

この明細書は、市民税・県民税申告書と一緒に提出してください。

年 1 月 1 日現在の住所が他の市町村にあった方は、その住所を下に書き入れてください。

都 道	郡			
府 県	市 町 (大字)	丁目(字)	番地	方
	区 村			

記入のしかた

※申告不要制度を利用し、所得は申告不要とするが、繰越控除を翌年度以降に残しておきたい場合は、市民税・県民税の申告書と併せてこの明細書の提出が必要です（この明細書のみ提出は不可となります）。

令和3年度分 上場株式等に係る譲渡損失の繰越控除明細書

↓住所氏名を忘れずに記入してください。

住所：豊橋市

氏名：

平成29年から平成31（令和元）年までの間に生じた上場株式等に係る譲渡損失の金額で、令和2年度分以前に繰越控除しきれなかった損失額を記入してください。
↓一番左の列には損失が生じた年に損益通算しきれなかった損失額を記入してください。
↓真ん中の列には(a)のうち2年度以前で使用した繰越損失額を記入してください。

損失の生じた年	(a) 繰越損失額	(b) 繰越損失額	(a)-(b) 繰越損失額
平成29年			
平成30年			
平成31年			

この明細書は、市民税・県民税申告書と一緒に提出してください。

年1月1日現在の住所が他の市町村にあり、令和3年度使用分については今回提出の明細書には反映されません（この明細書に反映されるのは前年度以前に使用した分のみです）。

都道府県 市町村(大字) 丁目(字) 番地 方

↑上記「損失の生じた年」の翌年の1月1日の住所が他の市町村にあった方はその住所を記入してください。